

# 西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	29	事務事業名 (中事業名)		児童館運営事業 ( )					
予算科目	03	02	01	大事業	07	中事業	00	担当課名	子育て支援課
総合計画施策コード	313		事務開始年度		昭和42年度		備考		
根拠法令等	児童福祉法						作成月	令和元年7月	

## 事業の概要

### ●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	児童の健康を増進し、情操を豊かにするとともに健全な成長を図るため、児童館を設置し、健全な遊びを提供する。
事業の対象 (誰(何)のために)	18歳未満のすべての子どもとその保護者
事業の概要 (具体的に何を)	市内4箇所の児童館(中央児童館、一色児童センター、吉良児童館、幡豆児童館)で、①遊びによる子どもの育成、②子どもの居場所の提供、③保護者の子育て支援を目的に、関係事業を実施している。

### ●事業費の内訳【DO】

項目		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①		31,633,013円	31,449,419円	34,454,000円	
事業にかかる人工		2.10人	2.10人	2.10人	
事業にかかる人件費②		14,919,685円	15,051,557円	15,191,872円	
総事業費③(①+②)		46,552,698円	46,500,976円	49,645,872円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	0円	
	市費	46,456,009円	46,472,462円	49,617,358円	
	その他(行政財産目的外使)	96,689円	28,514円	28,514円	
H30 総事業費③の対前年度差額		-51,722円	H30 総事業費③の対前年度比率		-0.11%
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)					
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額	
	臨時職員賃金	臨時職員18名		26,803,392円	
	光熱水費	電気・水道料金		2,062,382円	

### ●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	利用率					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	75	%	75	%	75	%
	実績値	73	%	70	%	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	イベント実施回数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	350	回	360	回	360	回
	実績値④	351	回	346	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度		令和元年度		
		132,629円	134,396円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	児童福祉法に係る施設で、児童の健全育成を図るために必要な施設である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	—
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	子育てニーズが多様化している中、子どもの居場所づくりのために適切な運営をすることができた。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	少子化は進行しているが、子どもの居場所づくりのためにも現行どおり進めるべきである。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	平成23年度までは中央児童館の管理・運営を委託していたが、現在は市で管理・運営している。今後も民間委託等の予定はない。				
事業全体の課題	全体の利用率(利用者数)が低い。来館者を増やすためにも、児童・保護者のニーズに合致したイベント等の実施が必要である。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣市の児童館(児童センター)の施設数 A市…0、B市…2、C市…6、D市…0、E市…9、F市…5、G市…4、H市…13
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	来館者を増やすためにも、児童・保護者のニーズに合致したイベント等の実施を進めたい。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	今後の少子化を見据え、長期的な視点での施設の在り方や運営方法については見直しを定期的に行ってください。また、4か所ある児童館でそれぞれの地域の特性を生かした行事等の実施に努めてください。
----------	---

# 西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	30		事務事業名 (中事業名)	児童クラブ運営事業 ( )					
予算科目	03	02	01	大事業	08	中事業	00	担当課名	子育て支援課
総合計画施策コード	313			事務開始年度	平成10年度		備考		
根拠法令等	児童福祉法						作成月	令和元年7月	

## 事業の概要

### ●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	就労等により昼間に保護者が不在となる家庭の小学校児童の健全な育成を図るため、必要な環境整備等を行い、入所要件を満たす児童を受け入れる。
事業の対象 (誰(何)のために)	就労等により昼間に保護者が不在となる家庭の小学校児童とその保護者
事業の概要 (具体的に何を)	市内26箇所の児童クラブで、児童に適切な遊びや生活の場を提供し、放課後児童支援員による保育を行い、児童の状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図っている。民間児童クラブ1箇所に補助をしている。

### ●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	277,908,582円	274,977,895円	309,313,000円	
事業にかかる人工	4.50人	4.50人	4.50人	
事業にかかる人件費②	31,970,754円	32,253,336円	32,554,012円	
総事業費③(①+②)	309,879,336円	307,231,231円	341,867,012円	
総事業費③の内訳	使用料・手数料	95,177,300円	106,053,600円	96,626,000円
	国からの支出金	61,754,000円	67,266,000円	70,895,000円
	県からの支出金	55,744,000円	56,158,000円	70,895,000円
	市費	97,204,036円	77,753,631円	103,451,012円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	-2,648,105円	H30 総事業費③の対前年度比率	-0.85%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	臨時職員賃金	臨時職員387名	200,354,390円	
	クラブ室借上料	児童クラブ室	37,466,640円	

### ●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	入会率(待機児童でない割合)5月1日基準					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	100	%	100	%	100	%
	実績値	100	%	100	%	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	利用人数(5月1日基準)					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	1,000	人	1,150	人	1,250	人
	実績値④	1,110	人	1,250	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度	令和元年度			
		279,171円	245,785円	*****			

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	児童福祉法に係る事業で、利用ニーズは高く、必要な事業である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評 価	評 価 項 目		評 価	評 価 項 目		評 価
	妥 当 性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効 率 性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			◎	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		○
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			◎	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			○	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		—
有 効 性	事業の目的は達成できているか		○	公 平 性	受益者に偏りはないか	—
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント		利用児童数の増加が著しい。引き続き適切な遊びの場と生活の場の提供に努め、児童の健全育成を図りたい。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	少子化は進行しているが、利用ニーズは高く、現行どおり進めるべきである。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	平成23年度までは旧西尾市の児童クラブの管理・運営を委託していた。今後は民間委託等も視野に入れ検討していく予定。					
事業全体の課題	安心・安全な児童クラブを運営するため、また、待機児童を出さないため、クラブ室と職員(臨時職員)の確保に苦慮している。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣市の児童クラブ数 A市…44、B市…9、C市…15、D市…66、E市…51、F市…7、G市…7、H市…11
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	きらっこクラブのクラブ室が手狭に感じる、現クラブ室の向かい側の部屋の利用を検討しないか。(R1.12月 他課職員の意見)
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	第2・3研修室への移転を検討したい。
--------	--------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	入会率は目標を達成できており、事業目的に合致した運営が行われていると考えられます。しかし、事業に係る経費と人工は多大なものでありますので、民間委託等の可能性を引き続き模索してください。また、総合計画の目標指標である児童クラブの定員数の拡大に努めてください。
----------	--

# 西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	31		事務事業名 (中事業名)	こどもひろば運営事業 ( )					
予算科目	03	02	01	大事業	09	中事業	00	担当課名	子育て支援課
総合計画施策コード	313		事務開始年度	平成10年度		備考			
根拠法令等	西尾市寺津ふれあいセンターこどもひろば運営要綱					作成月	令和元年7月		

## 事業の概要

### ●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	児童の健康を増進し、情操を豊かにするとともに健全な成長を図るため、こどもひろばを設置し、健全な遊び場を提供する。
事業の対象 (誰(何)のために)	18歳未満のすべての子どもとその保護者
事業の概要 (具体的に何を)	寺津ふれあいセンターで、①遊びによる子どもの育成、②子どもの居場所の提供、③保護者の子育て支援を目的に、事業を実施している。

### ●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	1,377,527円	1,364,275円	1,424,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,420,922円	1,433,482円	1,446,845円	
総事業費③(①+②)	2,798,449円	2,797,757円	2,870,845円	
総事業費の内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	2,798,449円	2,797,757円	2,870,845円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	-692円	H30 総事業費③の対前年度比率	-0.02%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額
	臨時職員賃金	臨時職員1名		1,345,870円

### ●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	施設数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	1	箇所	1	箇所	1	箇所
	実績値	1	箇所	1	箇所	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	延べ利用人数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	5,000	人	4,800	人	4,800	人
	実績値④	4,470	人	4,388	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度	令和元年度			
		626円	638円	*****			

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	児童の健全育成を図るために必要な施設である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	—
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	利用者数を増加させるために、子どもが安心できる安全な居場所として価値を高める必要がある。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	利用者数は減少傾向にあるが、子どもの居場所づくりのためにも現行どおり進めるべきである。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	適切な委託先があれば民間委託等も検討する。					
事業全体の課題	全体の利用率(利用者数)が低い。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣市の児童館(児童センター)の施設数 A市…0、B市…3、C市…5、D市…0、E市…9、F市…5、G市…4、H市…13
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	利用者数を増加させるために、子どもが安心できる安全な居場所として価値を高める手法を検討したい。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	今後の少子化を見据え、引き続き民間委託や施設の在り方を検討してください。また、子どもが地域の中で生き生きと遊び成長できるように努めてください。
----------	---